

令和4年度当初予算要求状況の公表に係る県民意見と反映状況

「令和4年度当初予算」要求状況に対し、県民の皆様からいただいたご意見の概要、それに対する県の考え方及び予算への反映状況は次のとおりです。

番号	ご意見の概要	県の考え方及び反映状況	所管課
1	<p>古民家を改修して、カフェを経営したいという夢があり、大分県内の空き家バンクで物件を探していますが、登録されている空き家の数が少なくこれといった物件が見つかりません。</p> <p>県でも空き家対策を新たに行うようですが、県内にはもっと多くの空き家があると思いますので、ぜひ市町村と協力して取り組んでいただきたいと思います。</p>	<p>少子高齢化による人口減少と並行して、空き家も増加の一途をたどっています。このままでは衛生・景観の悪化だけでなく、火災や犯罪の温床になる危険も増大します。そこで本県では、空き家の利活用を促進するため、市町村が管理する空き家バンクの物件情報が充実するよう支援します。</p> <p>また、希望の空き家が見つからない場合、新たに配置する建築士・宅地建物取引士などで構成するマッチングチームが、物件の探索や所有者への働きかけなど行うことで、理想の空き家との出会いの創出に取り組みます。</p> <p>さらに、空き家を活用したビジネスに係る経費の補助を行うなど、新たな空き家活用の取組も手厚く支援してまいります。</p>	おおいた創生推進課
2	<p>自分の息子は障害があり時々娘に息子のことを見てもらっていた時期がある。今思えばヤングケアラーだったのではないかと思う。</p> <p>苦しんでいるとき、困りごとがあるのだということを知ってもらえるだけでありがたい。知ってもらえること、理解してもらえることが大事だと思う。</p> <p>「自分はヤングケアラーだ」という相談が家庭や子どもから上がってくれればいいが、なかなか自分からは言い出せないことが多いと思うので、周囲の人の気付きを促すような取組もお願いしたい。</p>	<p>「ヤングケアラー」とは一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもとされており、本県では、その実態を把握するため、小学校5年生から高校3年生までの約8万人に対してアンケート調査を実施したところです。</p> <p>その結果も踏まえ、まずは周知・啓発を行うこととし、全児童・生徒向けに相談先カードやリーフレットを配布するなど、周囲の方からの気付きを促してまいります。</p> <p>また、24時間365日体制で電話やSNSからの相談を受け付ける、ヤングケアラー専用の相談窓口も設け、適切な支援に繋がれるよう体制を構築してまいります。</p>	こども・家庭支援課
3	<p>2022年4月から成年年齢が18歳に引き下げられます。社会経験の浅い若い人が、消費者トラブルに巻き込まれないための対策が必要ではないでしょうか。</p>	<p>成年年齢が引き下げられることに伴い、18歳から一人で有効な契約をすることができるようになる一方、保護者の同意を得ずに締結した契約を取り消すことができる年齢は17歳までとなります。</p> <p>県では、自主的かつ合理的に社会の一員として行動する自立した消費者の育成や若年者の消費者被害防止・救済に力を入れなければならないと考えています。特に、高校生への消費者教育の充実が重要であることから、新たに、消費者教育コーディネーターによる巣立ち教育出前講座を展開し、より多くの講座の開催に努めていきます。</p>	県民生活・男女共同参画課
4	<p>私は会社を経営していますが、コロナ禍で売上が下がっている状況です。</p> <p>様々なサービスがデジタルにシフトする中、何か変えないといけないと思い、最近よく耳にするDXに取り組みたいと考えていますが、何から手を付けてよいか分かりません。</p> <p>県内企業がDXを理解するための取組と、DXに取り組みたいと思っているけど悩んでいる企業に対する支援をお願いします。</p>	<p>日常生活のあらゆる面でデジタル化が進展し、顧客や社会のニーズ、市場環境が変化する中、企業が事業を継続し、成長するためには、デジタルを活用したビジネスの変革（DX）が不可欠となっています。</p> <p>DXの推進には、DXの理解促進と、ノウハウや人材不足を企業の共創により補い、ともに変革を目指す体制の構築が必要です。</p> <p>そのため、来年度は、DXの必要性等を理解するセミナーや無料相談を実施し、DXに取り組む企業の底上げを図ります。</p> <p>また、DXの取組を支援するパートナーの伴走により多様な業種でDXを試行し、県内企業へ横展開を図るためのモデル事例を創出してまいります。</p>	DX推進課

番号	ご意見の概要	県の考え方及び反映状況	所管課
5	<p>大分空港が宇宙港となり大分からロケットの打ち上げが行われると聞きました。宇宙港をきっかけに単なるロケットの打ち上げに留まることなく、いろいろな視点で宇宙に関する取組を広げていってほしいと思います。</p> <p>県内事業者の一人として、宇宙港の取組を通じて県内で新たなビジネスチャンスが生まれることを期待しています。</p>	<p>県では、令和2年4月にヴァージン・オービット社と大分空港を水平型宇宙港として活用することを目指す、パートナーシップを発表し、取組を進めています。</p> <p>令和4年度は、引き続き、宇宙港の実現に向けた関係機関等との調整を進めるとともに、スペースポートを核とした経済循環の実現に向け、衛星データの活用促進や宇宙ビジネス人材の育成などに取り組むこととしています。</p>	先端技術挑戦課
6	<p>ねぎ、ピーマン、ベリーツ、高糖度かんしょの4品目を重点的に支援するのは良いことだと思いますが、これと併せて、各地域の特色を活かした品目の支援もぜひお願いします。</p>	<p>ねぎ、ピーマン、ベリーツ、高糖度かんしょの4品目については、マーケットからの強いニーズがあり、集出荷体制の整備や苗の供給体制などを強化することで、県域での加速度的な産地拡大が見込めることから、短期集中県域支援品目と位置づけ、重点的な支援を行います。</p> <p>その他の品目についても、産地等の意欲に応じて、産地拡大推進品目（地域特性を活かして産地が一体的に生産拡大に取り組む品目）や、地域担い手支援品目（意欲ある生産者が戦略的な生産拡大に取り組む品目）として認定し、重点的な支援を行う仕組みをつくることとしています。</p>	園芸振興課
7	<p>近年、千葉県八街市など悲惨な交通事故が相次いでいます。事故が起こらないよう、通学路の歩道整備やガードレール設置が重要と思いますが、大分県ではどのように取り組んでいるのでしょうか。</p>	<p>県では、平成24年から学校関係者、警察、道路管理者による通学路の合同点検を毎年行っただけで、道路管理者として、歩道や防護柵、注意看板の設置等の安全対策を進めています。</p> <p>加えて令和3年度は、千葉県八街市の事故を受け、合同点検を例年より1か月早く実施し、危険箇所を早期抽出を行うとともに、対策工事についても前倒して実施することで、既に一部が完成したところです。残る箇所についても、引続き早期完成に向けて取り組みます。</p> <p>また、歩道新設など、対策に時間を要する箇所については、暫定対策として、防護柵や歩行者空間を明示するグリーンベルトの設置を進めるなど、スピード感をもって対策に努めてまいります。</p>	道路保全課
8	<p>県立学校に派遣するICT教育サポーターを育成するということですが、高校には普通科や商業科、工業科などがありますし、特別支援学校では小学部から高等部まであって、学校の雰囲気も違うと思います。派遣されるサポーターもその学校との相性や向き不向きもあると思いますので、うまく学校とマッチングできるようにすべきと考えます。</p> <p>また、教員のICT活用指導力を強化すると書いていますが、単に研修だけ増やしてもその場限りで、なかなか身につくものではありません。先生方もご多忙の中で頑張っていると思いますので、効果的な方法で指導力が高められるような取組を期待しています。</p>	<p>県では、GIGAスクール構想の進展や新学習指導要領の全面実施等を踏まえ、1人1台端末等を効果的に活用した新しい教育の取組を強化することとしています。</p> <p>令和4年度から県立学校へ派遣するICT教育サポーターは、各学校の特性を理解し、学校のニーズに応じた支援を行っていくことが大変重要であるため、事前研修やフォローアップ研修を行うとともに、複数人でのチーム制で担当するなど工夫を重ね取組を進めていきます。</p> <p>教員のICT活用指導力の強化については、単なる研修の増でなく、県内外のICTを活用した授業の優良事例を共有できるポータルサイトを構築し、授業改善を進め、教員のICT活用指導力の強化を図ります。</p>	教育デジタル改革室